情報通信

集団コミュニケーションにおける雰囲気推定技術

用途・応用分野

・集団対話支援（例：ファシリテーション支援、グループディスカッション支援など）
・オンラインアプリ開発（例 ：場の可視化など）
・アミューズメント機器（例 ：コミュニケーション玩具など）

本技術の特徴・従来技術との比較

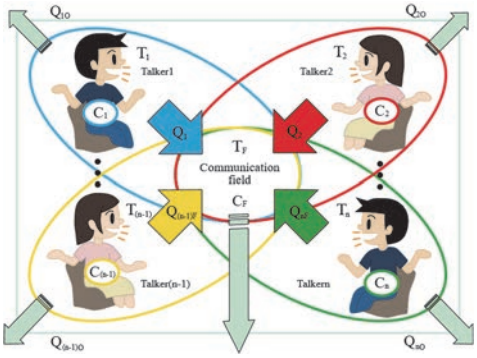
・これまでの集団の雰囲気推定は、個人特徴量の総和として求めているが、集団サイズ（構成人数）に依存したパラメータが必要であった

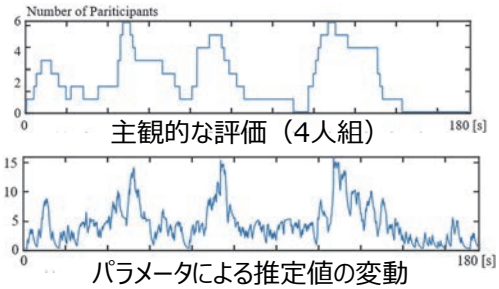
・本技術は、個人の発話や身体動作から対流熱伝達により集団の雰囲気を推定することができ、集団サイズ（構成人数）が変わっても対応できることが特徴である

技術の概要

・自由エネルギー原理を参考に、実空間を解析するのではなく、**仮想的な温度空間**を設定

・話者の発話や身体動作を自身の発熱として、**対流熱伝達に基づくシミュレーション**により場の温度（盛り上がりや雰囲気）をリアルタイムに推定

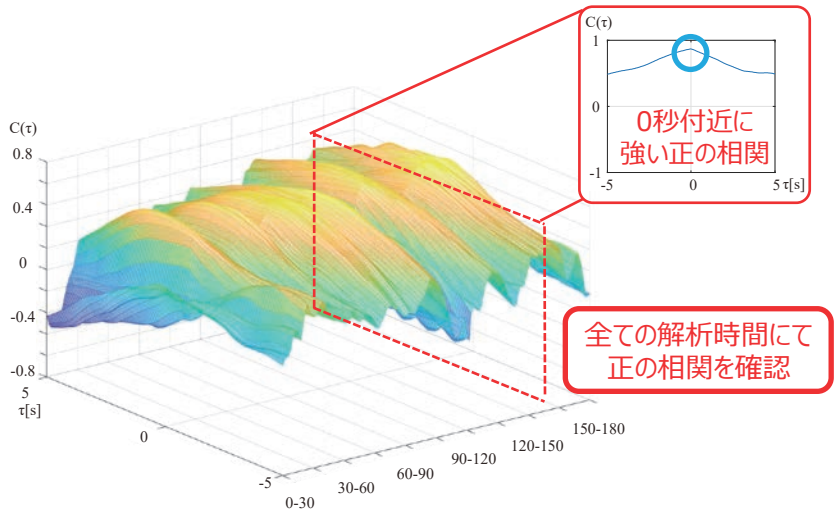




主観的な評価（4人組）

パラメータによる推定値の変動

【温度】話者、コミュニケーション場（温度空間）、外部環境
【熱量】コミュニケーション場における熱移動量
【熱容量】話者およびコミュニケーション場



特許・論文

＜論文＞
森田大樹、瀬島吉裕、マルチスケール集団コミュニケーションにおける盛り上がり推定モデルの開発、人工知能学会全国大会（第39回）2025

研究者

瀬島　吉裕
総合情報学部　総合情報学科
瀬島研究室
HP: http://www2.kansai-u.ac.jp/hri/

お問合わせ先
関西大学 社会連携部 産学官連携センター
TEL：06-6368-1245
MAIL：sangakukan-mm@ml.kandai.jp